

理事長あいさつ

土地改良区の役割

理事長 杉本 克己



皆様には日頃より亀田郷土地改良区の事業運営につきまして、ご支援ご協力を賜り感謝を申し上げます。

さて、今年の米作りも順調に進んでいることと思います。去年は8月に米価が激減、思わぬ収穫の秋を迎えたことと思います。原因は米の過剰生産による需給バランスの崩れです。農水省の統計の数字を使い計算すると米を作る労働に対する時給が640円になりました。このままでは稲作農業は守れない危機的な状況です。

これを変えるには米の生産量を減少させなければなりません。我々は、日本の主食を作っている自負がありました。しかし、日本の米の需要が690万トンですが麦の国内消費は600万トンです。量的に見てもうすぐ逆転しそうですし、金額的には圧倒的にパンやラーメンなどの小麦が上回っています。もうすでに日本の主食は小麦だと言っても間違いは無いと言えます。余っている米をつくって価格維持に政府はがんばれ。と言っても、それは無理なことだということを去年の米価は示しています。

農水省の発表で令和4年の所得の見通しが出ています。10アール当たり米は、所得13,000円、労働時間23時間。小麦53,000円、5時間。大豆50,000円、7時間。

いつまでも米だ米だ、と言っていると我々は生活さえできなくなる恐れがあります。

亀田郷土地改良区の役割は、小麦でも野菜でも果物でもなんでも作れる農地を作り上げることです。皆様とともに楽しく明るく暮らせるように願ってやみません。